

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和6年8月19日（月）
午後2時40分 開会

○坂井美穂委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

全員協議会に引き続きのご協議となり、皆さまお疲れのところ大変恐縮ですが、ご協力をお願いします。

協議題1「閉会中の調査事項について」（1）リモート勉強会を終えて、を行います。

8月5日に実施しましたリモート勉強会に対し、本日は、まず皆さまからご提出いただいた視察報告書について、ポイントを説明いただきたいと思います。

しばらく休憩します。

午後2時41分 休憩

（休憩中の主な意見）

- ・費用対効果を考えると効率ではないように感じたが、食品ロスに対する動機付けとして、モチベーション作りとしてはよいではないか。
- ・本市は、姫路市より小さいエリアとなるため、どこまで進めることができるか。
- ・ゴミ削減として最終的にはどの程度繋がるのか。どのような手法を用いていくことが適しているかを検討する必要がある。
- ・今回のアプリは、高齢者には不向きではないか。導入する前に、事業者アンケートを取るなど、支持されるようであれば、導入に向けた検討をしてもよいのではないか。
- ・いろいろな企業がタイアップできるようになるとさらに良い。利用する側としては、新たにアプリをダウンロードするよりは、すでに使用されているアプリと連携できる手立てがあれば、手間が省けるのではないか。
- ・企業として、物を売れることに繋がる点がメリットになっている。兵庫県では、姫路市のみ導入だが、愛知県内には、他にも導入している自治体があるため、連携していくとよいのではないか。
- ・行政がアプリの開発を行う必要性については疑問が生じたが、食品ロスのツールとしては、有効である。
- ・事業者アプリの紹介することにより、導入いただく事業者が増えるのであれば、食品ロスに対する事業として進めることができるのではないか。
- ・フードロスに取り組む機運が、タバスケを導入する前の環境としてできていた背景があった。本市では、まずは機運を高める環境作りが必要となるのではないか。
- ・利用者負担が発生しない点が取り組みやすさに繋がっている。
- ・導入に向けては、様々なアプリの中で検証を行う必要がある。本市は、小さな事業者も多いため、事前に意向調査が必要である。
- ・アプリを導入することで、食品ロス削減量を計測できる点はメリットである。

午後2時52分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

休憩中に協議いただきました結果と併せ、11月に予定している視察も踏まえ、後日、提言をとりまとめていくこととなりますので、よろしくお願いします。

続きまして、（2）視察先における取組み状況について、を行います。視察先3市における取組み状況について説明します。

徳島県徳島市は、可燃ごみの4割近くを紙類が占めたことから、燃やせるごみの名称を

「分別頑張ったんやけど、燃やすしかないごみ」に変更し、市民の分別意識を高め、ごみ減量と資源の再利用化を目指す取組みを行っています。また、持続可能な資源循環システムの構築として、地元企業と連携し、生分解性ポリマー製の手提げ袋を転入者に配布することにより、啓発を行い、プラスチックごみ削減の推進を行っています。この他に、食品ロスに対する取組みとして「てまえどり」への協力を呼び掛けるキャンペーンを消費者庁、徳島県と共同で実施している自治体です。

徳島県上勝町は、ごみを生み出さないようにしようとする考え方であるゼロ・ウェイストの取組みを実施しています。2003年にゼロ・ウェイスト宣言を国内で初めて行った自治体で、令和4年度のごみ再資源化率は81.1%です。また、ゼロ・ウェイストに取り組む事業所を独自の基準で公的に認証する制度を始めています。ゼロ・ウェイスト認証店は、飲食店のほか、アパレル、シェアオフィス・コワーキングスペースなどに展開されています。さらに、ゴミ収集車のない上勝町では、町内唯一のゴミステーションであるゼロ・ウェイストセンターに持ち込みを行い、分別を行っています。センターは、ごみ分別のほか、リユースショップ、コミュニティホール、体験型ホテルやサテライト・オフィスなどの機能を併せ持っています。この他に、全国のゼロ・ウェイスト宣言自治体によって年1回ゼロ・ウェイストまちづくり推進会議を開催し、情報交換を行っています。これらの関連事業を推進するために、ゼロ・ウェイスト推進基金条例を制定するなどしている自治体です。

香川県坂出市は、アートを活かしたゼロカーボンの推進として、市、観光協会及び民間事業者が連携協定を結び、それぞれの資源、ネットワークを活用することにより、共に考え、創りあげる中にアートを取り入れながら持続可能な社会の形成を目指す取組みを実施しています。また、プラスチックスマートアクション方針として、「屋内型、屋外用常設給水機」を設置することで、マイボトルを持参する方が増えることにより、市内における機運醸成やプラスチックごみの削減に繋げていくといった取組みを推進して循環型社会を目指している自治体です。

説明は以上となりますが、この件につきまして何かありましたらお願いいたします。

【「なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

続きまして、(3) 質問事項について、を行います。

質問事項につきましては、委員の皆さまのご意見を伺い、次回の委員会にて決定したいと思しますので、9月2日(月)までに事務局まで提出をお願いいたします。

続きまして、(4) リモート視察について、を行います。

今後、県外視察を控えていますが、持続可能な航空燃料 SAF の取組みについて、リモート勉強会を実施したいと考えています。国内資源循環による脱炭素社会の実現に向けたプロジェクト「Fry to Fry Project」に参加し、廃食油を原料とした持続可能な航空燃料(SAF)製造の取組みを推進している日本航空株式会社と連携協定を締結した横浜市とのリモート勉強会の実施に向け、皆さまのご意見をいただければと思います。

しばらく休憩します。

15時 9分 休憩

15時12分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

休憩中に協議しましたとおり、持続可能な航空燃料に関するリモート勉強会の実施に向け調整を進めさせていただきますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、調整を進めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

併せて、休憩中にご意見をいただきました質問事項につきましては、委員長案を作成の

上、後日、改めて委員の皆さまに事前にお送りし、確認いただくことに変更させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、前回の委員会にて県外視察後の意見集約の委員会の日程調整を改めて行うこととしておりましたので、視察後の意見集約の委員会の日程を決めたいと思います。

しばらく休憩します。

15時13分 休憩

15時14分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

それでは、視察後の意見集約の委員会を11月20日（水）午前10時からといたします。よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、視察後の意見集約の委員会を11月20日（水）午前10時から、といたしますので、よろしくお願いいたします。

次に、次回の委員会につきましては、9月10日（火）決算審査終了後から行いますので、よろしくお願いいたします。このあとは、議会事業評価を行いますので、当局の皆さまはご退席ください。

しばらく休憩します。

15時15分 休憩

15時16分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

続きまして、協議題2「その他」を行います。

今年度実施する議会事業評価につきまして、確認させていただきます。評価対象事業につきましては、「ごみ収集運搬委託事業」に決定しています。8月2日に開催された議会運営委員会にて連絡がありましたが、今年度につきましては、9月18日（水）が評価シートの提出期限となっています。つきましては、議会事業評価を実施するにあたり、分科会の今後の日程を決めたいと思います。

しばらく休憩します。

15時17分 休憩

15時21分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

分科会のスケジュールとしまして、9月10日（火）決算審査及び閉会中の調査事項終了後、分科会として議会事業評価を実施します。そのため、9月4日（水）までに評価シートを作成いただき、事務局まで提出をお願いいたします。評価シートにつきましては、本日、メールにてご案内いたします。なお、9月13日（金）午前10時30分から、予備日としての9月17日（火）午後1時30分から、につきましては、進捗状況にあわせて開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

その他として、委員から何かありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。本日の委員会は、これにて閉会いたします。

午後15時23分 閉会